

住民説明会（令和5年7月12日から8月26日まで）での主なご意見

会場	質問	回答
下有知ふれあいセンター（7月12日（水））	上水道に関しては市民の命にかかわるインフラですので、ある程度長期的に市の方で上水道の配管に関しては独立採算ではなく市の財政から歳出すべきだと考えます。	市からの財政安定化基金としての繰入金には総務省から示されている基準がございます。人件費の一部とか借入金残高の2分の1にしか、基準内の繰入は充てることができません。管路の更新費用については、繰入を基準は認めておりません。ですから、基準に該当しないものを繰入することはできませんので、更新費用は収入で賄う必要があります。
	国からの補助がなければ、黒字の時に少しずつでも積み立てをすべきではなかったのではないのでしょうか。	毎年積み立てはしておりますが、利益を積み立てては来ておりますが、それ以上に償還金などで積み立てた資金が減っていくスピードが早いのです。ですから現在の料金体系では資金不足になってしまうのです。
	審議会の委員について男女の比率の説明はありましたが、所得とか年齢についてはどうなのでしょう。委員の方は本当に理解して22%を了解されたのでしょうか。	委員の方は社長の方はいらっしゃるが、管理職の方でとくに私たちとかけ離れた収入の方はいらっしゃらないです。年齢については20～30代の方は忙しく、50代、60代、70代の方から構成されています。また女性の委員の方からは負担が重く感じるはずだから住民説明会で丁寧に説明することが必要だと言われております。
	値上げして安定した経営はできるのか。	水道事業は1,000kmの管路延長があり、年5億円ほどかけています。これからも同じ程度かけていきたいと思っております。1,000kmの0.7%に相当します。22%の値上げで大幅な更新増加ができるわけではありませんが、このままですと維持すら難しくなります。財政計画は向こう10年で立てておりま

		すので、それに基づいて算出しております。
田原ふれあいセンター(7月14日(金))	上下水道事業の現状と課題のページを見ますと、結構古い設備を使っていますね。これが下水だと31箇所あると。統合すると仰っていましたが、どのように統合していかれるのですか？	統合できるところは繋いで、処理場を減らしていくことを考えています。下水道事業は処理場が多く、設備投資を行ってきていますので、統廃合をすることで事業費を削減することを考えています。
西部ふれあいセンター(7月19日(水))	22%の値上げについては、当初4案があったようですが、5年後にはまた審議があるということが付帯意見にありますね。22%は5年後も値上げはない、ということでの22%なのか？あるいは10年後見直しをします、という意味なのか？	22%の改定率は、10年先を見据えた財政計画をもとに算定したものです。5年毎の見直しというのは、物価の急激な変動とか計画を立てた時点では見通せない事情もあることから、5年毎の検証が必要としたものです。
	令和元年度の水道事業の料金収入の不足額は5.1億円とあるが、赤字なのか？これまでプールされてきた金額はどうなってきたのか？	5.1億円は収益的収支ではなく、資本的収支という資産の更新費用が不足しているということです。不足分については、これまでの内部留保で補填しているのですが、令和7年には資金が足りなくなってしまうということです。収益的収支で生まれる内部留保で資本的収支の不足分を補填しているので、料金収入が減少すると内部留保が足りなくなり補填できなくなってしまうということです。
	これは決定事項です、ということですね。料金改定22%はとんでもない数字だと思います。生活がこれでやっていけると思いますか？ここにいる方は全員反対だと思いますよ。意見を聞かれたらいいと思いますよ。説明して終わろうと考えているでしょう？	市の方針としまして、審議会の意見を尊重する形で進めております。賛成、反対を問う場ではありませんので、その点をご理解を願いたいと思います。
富岡ふれあいセンター	値上げの理由はわからないわけではないが、この時期は便乗値上げのようで時期が悪い。	タイミング的にそう思われるのは致し方ないのですが、水道課ではアセットマネジメント計画(更新計画)を立

<p>ー(7月 21日 (金))</p>		<p>てております。平成 23 年度の計画では、年 4.2 億円 (20 年で 133km を想定) を見込んでおり、また老朽管対策事業としては、平成 24 年から行ってきております。それが、管の老朽化に伴いまして、令和元年に見直しをかけました結果、費用としては年 5.4 億円 (43 年で 546km を想定) と少し上がりました。今後も継続して更新を行えるように料金改定を行うこととしたわけです。よって、料金改定の内容について、上下水道事業経営審議会に審議していただいた結果を踏まえ、今回説明会で説明させていただいております。</p>
	<p>料金改定の理由が更新の財源を確保するためと言われていましたが、今後人口減少で料金収入の減少が既にわかっているのなら、人口減少を前提とした設備に減らすことを考えていかないと、余剰の設備を作ることになってしまう。設備の見直しを考えていただきたい。</p>	<p>特に下水道事業につきましては、施設が市内に 31 箇所あり、汚水を川に流せる程度まできれいにすることから、処理費はかなりかかり、機械も特殊で修理や更新費用もかなり高くなります。施設をたくさん持つことで、費用がかなりかかっておりますので、ストックマネジメント計画を現在策定中です。ストックマネジメント計画は策定後に公表しますが、正式に策定ができましたら、実施に移してまいります。</p>
<p>倉知ふれあいセンター(7月 25日 (火))</p>	<p>老朽化した水道管の割合が 45% ということで、どれくらいの期間で新しい管に更新できますか。</p>	<p>水道事業ではアセットマネジメント計画(更新計画)を立てております。平成 23 年度の段階では、長期計画として、向こう 20 年、133km の更新を目途にして年 4.2 億円を見込んでおります。それが、経済状況も変わってきてまして、令和元年に見直しをかけました結果、年 5.4 億円、1 億 2000 万円程更新費用も上がりました。なおかつ、</p>

		<p>老朽化も順次 40 年を超えて参りますので、実際に（管理延長）1,000kmのうち 546km、年数にしますと 43 年、それくらいかかります。（参考までに）現在は年間約 5 億円かけて管路を更新しておりますが、一年毎に大体 7km くらいしか更新できておりません。それを単純計算でいきますと、管路全体を更新するには約 140 年かかります。なかには新しい管もありますので、一概に全部更新するわけではないですが、現在のペースではそれだけかかることになります。</p>
<p>鮎之瀬ふれあいセンター（7月28日（金））</p>	<p>関市は若者が減っているのですが、今後増える予測で収入を増やそうと考えておられるのか、どうでしょうか。この先若者が東京、名古屋、大阪などに出ていった場合、どのように考えていますか。</p>	<p>人口推計でございりますが、出生率と転入転出について施策を打った場合のプラス要素を考慮しております。その推計を基に給水人口、料金収入を算定しております。</p> <p>予想以上に転出者が多い場合、又は転入者が多い場合は料金収入に影響します。そういった場合は料金収入の上方修正、下方修正を行ってまいります。今は向こう 10 年の人口推計を基に料金収入を算定しております。そのうえで料金の改定率を算定しております。</p>
<p>安桜ふれあいセンター（8月1日（火））</p>	<p>審議会についてですが、審議は公開で行っているのか。非公開で行っているのか。審議会で審議を行ったということだが、一般市民はどういう打ち合わせをされ、誰がどういう意見を出して、市がどういった答弁を行ったかはっきり言ってわからない。</p> <p>また、合併に対して、かなりの金額を投資されたところですが、上下水道に対して、どのくらいの費用がかかった</p>	<p>経営審議会ですが、公開で行っております。ホームページにも議事録を載せておりますので、ご覧ください。</p> <p>合併時に施設自体の統廃合は行っておりません。旧郡部 5 町村の施設を引き受けたわけですが、その後に統合した箇所はございまして、武儀・上之保地区の管路を、ある水源地（下岩水源地）から繋げたわけですね。それにより、</p>

<p>のか、そのしわ寄せが今きているのではないか。</p>	<p>山の上にある配水地や水を汲みあげる浄水場を一部廃止しており、その時の管工事に対して投資を行っております。</p> <p>下水道につきまして、処理施設は31か所と説明させていただきましたが、下水道については、施設が多いことで費用がかかっている状況ですので、大きな処理場から小さな処理場までありますが、(今後の人口減少の動向により)統合できる所は統合していきたいと考えております。</p> <p>旧郡部でもっと人口が少なくなっていく箇所については、規模を小さくしたり、人口減少の動向をみながら将来的には合併浄化槽ということも考えているところです。極力経費などは抑えていきたいと思っております。</p>
<p>今回赤字経営になるということで料金改定しているわけですね。ということは、旧市内の人が負担を負ってほしいということですか。はっきり言えばお願いしますということですね。経営が難しく、料金を上げることはわかっていたことです。</p> <p>皆さんが自分の家の前に下水道が何年前に通ったとか、私の家の前も50年以上ですが、管理するのはかなり大変な状態ということも踏まえ、計画的に直しているのか教えてほしい。</p>	<p>ご質問の趣旨としましては、合併によって多少投資をされたら、旧市内に対しては、老朽化対策はやっているが、旧郡部に対する投資の負担が大きいが故に、全体で負担していくのではないかとということでしょうか。</p> <p>(住民から「相違ない」との返答を受け)具体的に旧郡部に対してとか、旧関市内に対してどのように事業配分しているかと言いますと、大きな違いはございません。もちろん旧郡部でも古い所は古いですが、管路の延長は、旧関市内が圧倒的に多いですから、旧関市内にかかる(工事や修繕の)費用はかなりのウエイトを占めております。また、処理施設に関しても、倉知の処理場がありますが、旧関市内をほ</p>

		<p>ば網羅しておりますから、維持管理費もかなりの費用がかかっています。それに比べて旧郡部は、例えば集落排水事業という小さな集落毎にそれぞれ処理していくわけですが、人口が減っていきますと1軒のために処理場を1つ運営することは無駄になります。今後は、人口減少でそのような現象がでてきますので、やはり施設の統廃合が一番重要だと思います。今後の課題として事業費に盛り込んでおりますが、もちろん旧郡部を中心ということではなく、旧関市内の方が事業費は多いので、今までのウエイトを変えず、進めていきたいと考えております。</p>
<p>旭ヶ丘ふれあいセンター（8月4日（金））</p>	<p>水道工事をされている業者は関の業者ですか？なぜこの質問をしたかという、関の業者なら法人（市民）税が入ってくる。従業員も働いていれば住民税が入りますね。そのため、関の業者にやってもらうような配慮をお願いしたい。</p>	<p>関市には関管工事組合がありまして、加盟している業者が何十社とあります。その中で公共工事をやっている業者は十何社あり、売上によりランクがあります。工事金額によって入札の要件があります。（ちなみに）契約方式は、一般競争入札などです。関市の業者につきましても、もちろん税金などで還元されますので、できる範囲で請負をしていただくように努めていきたいです。</p>
	<p>一番心配しているのは、高齢者が多いので、自分の家でトラブルがあった時、例えば漏水などがあった時に困るので、料金を上げるなら、困りごとはないかなどのアンケートを自治会長宛に出して、それを市（の上下水道事業）に反映させる。今まで自治会長をやっているが、このようなことが1度もないので、やっていただいた方がいいのではないかと。</p>	<p>まずトラブルに関してですが、毎月広報で休日当番表を掲載しております。これは各家庭で漏水が起きた場合、当番店に電話をしていただくと対応していただける体制を取っております。それ以外にお困りなどを広報等で周知するとか、アンケートを取るとかは今後の検討課題とさせていただきます。</p>

	<p>もう一つは、水道管の材料についてですが、鉄管とかステンレス管とか、どの路線がどのような材料を使って、安いとか高いなどの資料がほしい。</p> <p>やはり一番大事なのは、各家庭が安心して水道が使えるようにしてほしい。</p>	
	<p>家賃を値上げするのは苦しいので、（上下水道料金について市へ）お願いするのは心苦しいのですが、今後も（料金が）上がる可能性はありますか。</p>	<p>5年に1回行う検証は値上げを約束したものではありませんので、あくまでもこのままの経営で良いかどうか検証を行うということです。当然ながら、経済状況などいろいろな不確定要素がありますので、状況が変わりましたら、再度値上げについて検討していくべきかと思いますが、今の段階では、10年先までの財政計画によって、この改定率を導き出しております。</p>
	<p>各会場の意見はいつ検討するのですか。</p>	<p>要望等があった場合は、今後の検討課題としますが、今回の料金改定の説明会は、賛否を問う場ではなく、料金改定の必要性をご理解いただく場として捉えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>わかき・プラザ 学習情報館 多目的ホール（8月6日（日））</p>	<p>水道事業は独立採算制で料金（収入）により賄うということで、設備の修繕や補修などに充てながら事業を行っていくことは理解しましたが、（その他にも）老朽化した配水池（小瀬や広見など）や50年経過した管があると思います。このような施設の修繕等にもかなりの費用がかかると思いますが、この費用は、（今回の）水道料金（改定）とは別の費用が出るのでしょうか。もし、この費用を収入の中から賄うのであれば、更に値上げを行わないと、事業が成立しないのではないかと。</p>	<p>現在は、安桜山の配水池の更新計画等があります。また他にも、一部の配水地を廃止し、ある程度の区間の管を繋ぐなどの費用は、財政計画に見込んであり、事業費を平準化し算出した計画によって、22パーセントを算出しました。万が一、計画外で更新が必要になった場合は、上方修正を行うかもしれませんが、向こう10年の財政計画の中には盛り込んであります。</p>
<p>桜ヶ丘</p>	<p>全国的に人口減少が進んでいるわけ</p>	<p>人口の推計でございますが、市の出生</p>

<p>ふれあいセンター (8月8日 (火))</p>	<p>ですが、赤字になる前に料金改定を行えば、少し経営は改善する。その後も赤字にならないように経営して、5年に1度経営審議会の審議を受ける。しかしながら、人口減少が進んで、大口利用者の企業も増えないとすると、5年毎の検証で耐えることはできるのか。</p>	<p>率の目標である1.5を使用しております。また、市の施策により、転入者を増やし、転出者を抑えるといった期待値を含めた人口推計をしております。よって、料金収入はこの人口推計をもとに算定し、向こう10年の財政計画を策定しております。投資についても、年間で施設3億円・管路5億円の支出を含んでおり、10年間は赤字にならずに年8億円の投資が可能な財政計画となっております。また、財政計画は今回の料金改定を踏まえており、料金改定が実施できれば、向こう10年は安定した事業運営が可能と考えております。ただし、人口減少が予想以上に進んだ場合などは、5年毎に詳しく検証を行いたいと考えております。</p> <p>(水道)</p> <p>当然、人口減少により収入は減っていきますので、審議会の付帯意見にある、「更新投資や資金収支の検証に積極的に取り組み、合理的で健全な事業運営を図ること」に従い、経費削減に取り組んでまいりたいと考えております。下水道事業については、処理場が多くありますので、今後の人口減少を見ながら、処理場の統合やストックマネジメント計画に基づいてトータルコスト削減に取り組んでまいります。(下水道)</p>
<p>富野ふれあいセンター (8月10日 (金))</p>	<p>経営改善というか支出を抑える方策について具体的なものがありましたら説明をお願いします。</p>	<p>水道事業につきましては、武儀上之保の施設を統合しております。ほかに統合の計画は今のところございません。今後人口が著しく減少した場合には管路を廃止することもあるかと思えます。(水道)</p>

		<p>下水道事業につきましては、ストックマネジメント計画の策定を進めておりまして、費用のかかる処理場について機器の点検をして長寿命化を図りながら、効率よく施設を更新することで費用を抑える。また、市内に 31 箇所ある処理場について人口減少による処理水量の減少を見ながら、統廃合を行っていくこととしております。方法として、処理場の統合のほか、小さな処理場にするダウンサイジングや合併浄化槽への転換です。(下水道)</p>
<p>上之保生涯学習センター (8月18日(金))</p>	<p>関市内の上下水道の配管の距離数を考えると上之保の配管の距離は短くて、また新しい管が多いと思うのですが、そのあたりの状況はどうでしょうか。</p>	<p>合併後の平成 30 年度に富之保の下岩地区で新たに水源地を設けまして、そこから上之保、武儀、富野の一部について水道を供給しています。ただし、管自体は既設の管に繋いで使用しておりますので、もともと簡易水道時代からの古くから使っている管を使っているところが多いです。管の老朽化については、関市全体で対応しておりますので、上之保地域につきましても、今後更新を行っていく予定でございます。(水道)</p> <p>下水道事業につきましては、旧関の公共下水道が一番古いわけですが、上之保地域は特定環境保全公共下水道と農業集落排水で対応しており、近隣の武儀とか武芸川と近い時期での供用開始となっております。機器については順次更新しておりますし、故障した場合の対応についてはその影響の程度を見込んで予算を設けております。(下水道)</p>
<p>武儀生涯学習</p>	<p>これまでの工事を工夫することによって効率的な事業に繋がったという</p>	<p>現在埋設している管は塩化ビニル管やポリエチレン管が多いのですが、こ</p>

<p>センター(8月19日(土))</p>	<p>事例はありますか？</p>	<p>これらの耐用年数は40年とされています。今回更新に使っている管は高性能ポリエチレン管といたしまして、100年使用できると言われております。また、地震時の追随性といって縦の揺れにも対応できる性能をもっております。購入コストはこれまでの管より高いですが、ランニングコストを踏まえるとトータルコストは抑えることができるものと考えております。そのほか漏水調査につきましても、年1000万円ほどかけて行っておりますが、以前は悪くなった箇所をその都度修繕していたのですが、現在は漏水の履歴が多いところをあらかじめ調査して、ポイントを絞って修繕することで経費の削減につなげております。</p>
<p>板取ふれあいセンター(8月22日(火))</p>	<p>下水道事業は公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水をまとめて事業運営しておられるのですが、板取においては約2800人分の処理能力に対して推計で700人(注：令和5年4月1日で2800人の計画人口に対して地区人口890人)位が、処理をされていると思いますが、年々人口が減少する中で、いつまで事業運営できるのか、他の町村でも農業集落排水は厳しい状況にあると聞いております。農業集落排水の将来の展望をお聞かせください。</p>	<p>今年3月に岐阜県が策定・公表しました「岐阜県汚水処理事業広域化・共同化計画」によると、費用対効果でメリットがある処理場については統合を、また人口減少で能力が過大になっている処理場については規模を小さくするダウンサイジングを提示しています。農業集落排水についても、処理場間をつなぐことができるところは繋いで、片方を廃止する。ただ、地理的な問題で繋ぐことが難しいところは規模の縮小(ダウンサイジング)を検討していくことになると思います。合併浄化槽に転換することも選択肢であろうかと思えます。</p>
<p>洞戸ふれあいセンター(8月)</p>	<p>他市と比べてふるさと納税の額が多い。これを利用して料金改定の額を上げることはできないのか？</p>	<p>ふるさと納税は、関市に対して48億円、ひと、まち、くらしに対して使っております。水道事業・下水道事業の企業会計は、一般会計とは別の会社と</p>

25 日 (金))		<p>いう認識で、違う会社から損失を補填することはできないというものです。よって、ふるさと納税についても、一般会計の収入であるという認識から、(料金改定の増額相当分に係る補填は) できないと考えております。</p>
	<p>一般会計の繰入金を減らすという考えですが、(上下水道料金は) 生活に身近なものなので、一般会計を充てることには合理性があると思います。また22%の改定を行うのであれば、低所得者に対する手当を考える必要があると思います。やはり生活への影響が大きいので、22%からの減額を考えてほしい。</p>	<p>ご質問のとおり、低所得者とか生活保護にギリギリ該当しない方への影響は大きいと思いますが、現時点において、水道事業・下水道事業で(料金の) 減免は考えておりません。また、(軽減措置として段階的な改定を行った場合の減収分に対して) 一般会計からの補填を行うのかについても未定ですが、他会場でも同様のご意見があったことを踏まえ、今後検討すべき事項と捉えております。</p>
武芸川 生涯学 習セン ター (8月 26日 (土))	<p>4つのシミュレーションで複数回の改定で2回目、3回目の8%は当初の料金体系に対するものか前回改定の料金に対する8%かを教えてください。あと維持管理費のエネルギー費はどの程度のものか。あと予防保全の方法や新技術の取り組みなどについて説明して頂きたい。</p>	<p>1点目の改定率は、当初の料金体系に対するものです。 2点目のエネルギー使用量ですが、上下水道事業ともに令和4年度は令和3年度と比較して1億円近くエネルギー費が増加しております。昨今の電気代高騰については一時的な要因と捉えており、収支計画には織り込んでおりませんが、こうした不測の要因が経営にどのような影響を与えているかについては、審議会において5年に一度検証していく予定です。 予防保全につきましては、従来は場当たりの対応で修繕を行っていましたが、平成29年度からは漏水調査の範囲を広げ、事業費も年間1,000万円ほど投入しまして、市内を5ブロックに分けて音聴調査を行っております。また、調査により判明した箇所には</p>

		<p>つきましては、翌年度以降に修繕を行っております。今後は、管の更新も現在以上に推進していき、予防保全的な維持管理を行っていきたいと考えております。また、人工衛星とA Iを用いた漏水調査につきましては、現状の精度が3割程度ですので、今後の動向を見ながら精度が改善されれば、導入を検討していきたいと考えております。(水道)</p> <p>下水道事業の予防保全については、施設状況を把握しストックマネジメント計画に基づき、適正な維持管理を図りながら効率よく設備を一体的に更新することでライフサイクルコストを抑えていくこととしています。また、新技術でなくなってきましたが、管路については点検をしたうえで管更生といって管を入れ替えるのではなく、管の内側に更生材料を裏打ちして修繕を行う方法で対応しております。(下水道)</p>
--	--	--